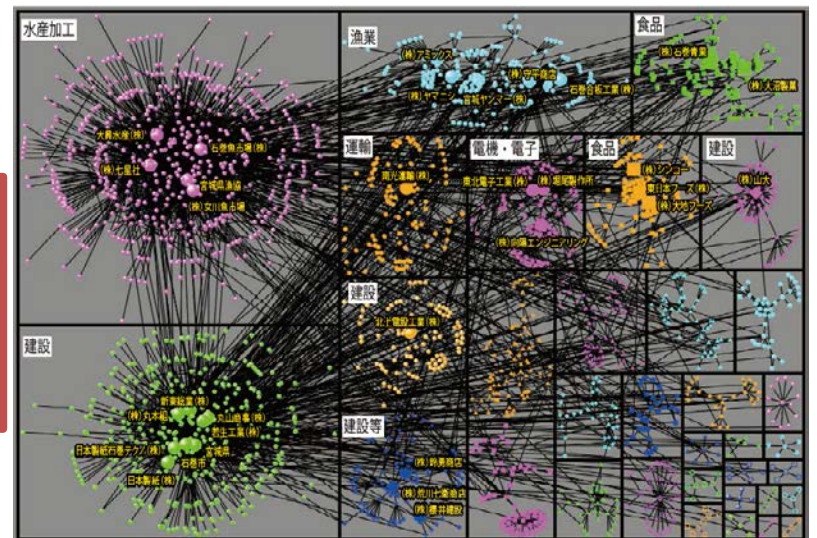


2014年10月31日
まち・ひと・しごと創生本部

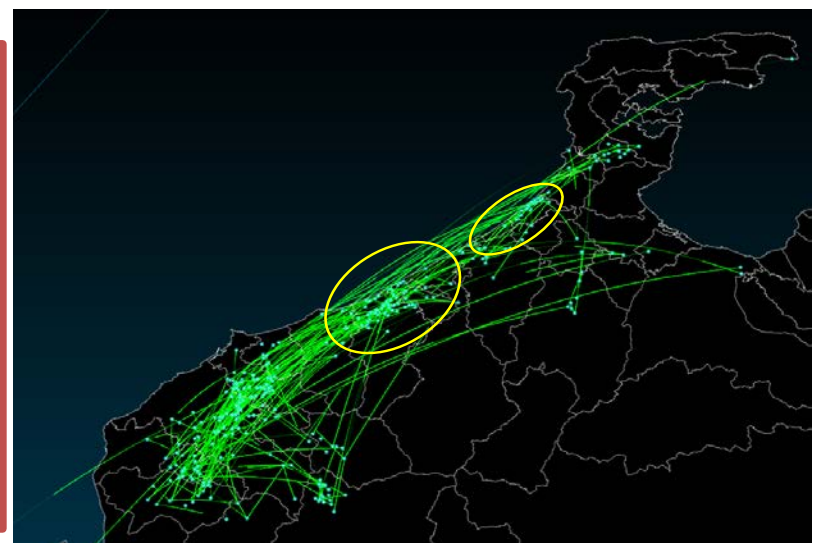
このシステムは、地域経済に関連する様々なビッグデータから、都道府県・市町村の産業や企業の実態、観光客の流れ、人口の現状と将来等を、わかりやすく「見える化」するシステムです。これによって、以下のようなことがわかります。

産業マップ

○どの産業が、域外から「稼いでくる」産業か、どの産業を強化すべきか、都道府県・市町村が産業戦略を立てる際、産業の全体構造がわかります。



○行政区域を超えて、どの産業がどう広がっているかがわかります。これによって、どの産業分野で、どの自治体と具体的な政策連携を検討すべきかがわかります。



○具体的な企業名もわかりますので、誘致したい企業がどこの企業と取引しているかなど、事前に情報収集が可能となります。

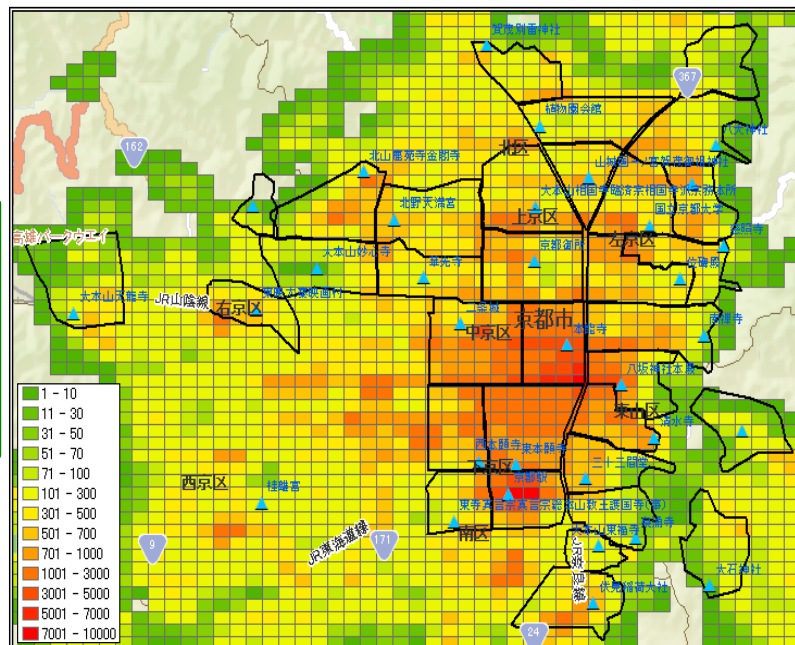
○地域の経済を支える「地域中核企業」の候補企業名をビッグデータから検索できるため、企業ヒアリングなどの効率が格段に上がります。

○自治体が支援した企業が売り上げや利益を伸ばすと、取引先企業にどう影響するかがわかるため、講じた支援策の地域への波及効果などがわかります。

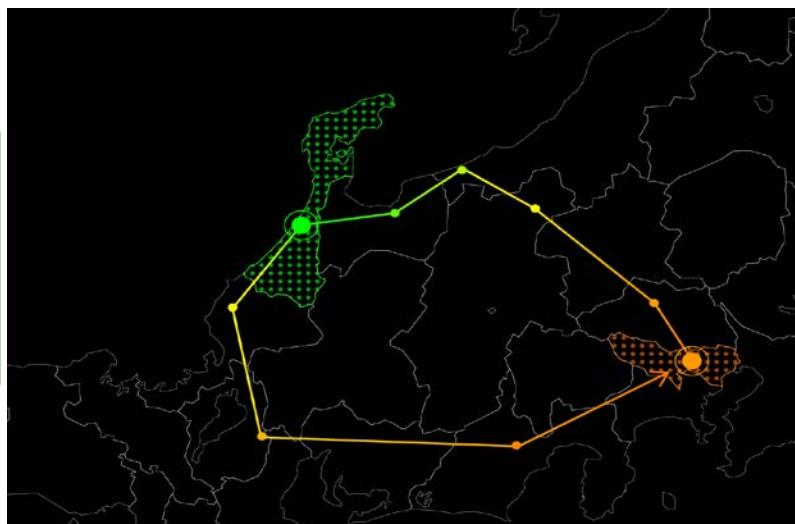


観光マップ

- 観光客が、どこの都道府県・市町村から来て、主にどこを訪れているのかがわかります。これにより、より効果的な観光戦略を立てることができます。

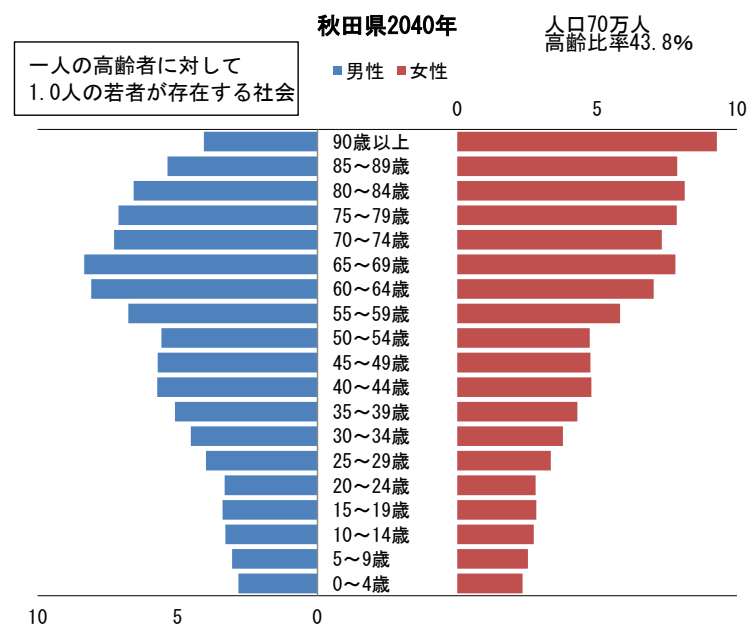


- 観光客が、家を出てから帰るまで、どの市町村を経由して、自分の地域に来てくれたかがわかります。これにより、他の自治体と広域観光ルートを検討などが可能となります。

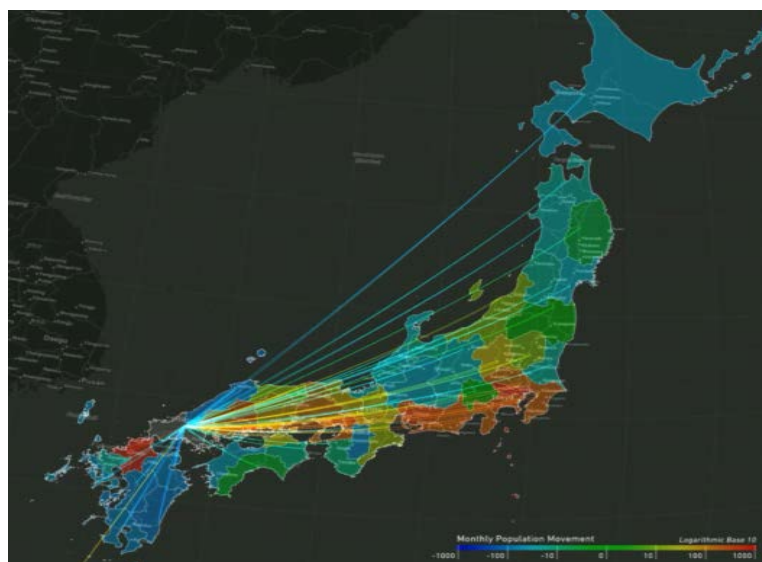


人口マップ

- 都道府県・市町村の単位に、男女別・年齢層別に、現在と将来(2040年)の人口構成を把握することができます。これにより、今後のインフラ整備や医療福祉政策、教育政策の検討時の参考となります。

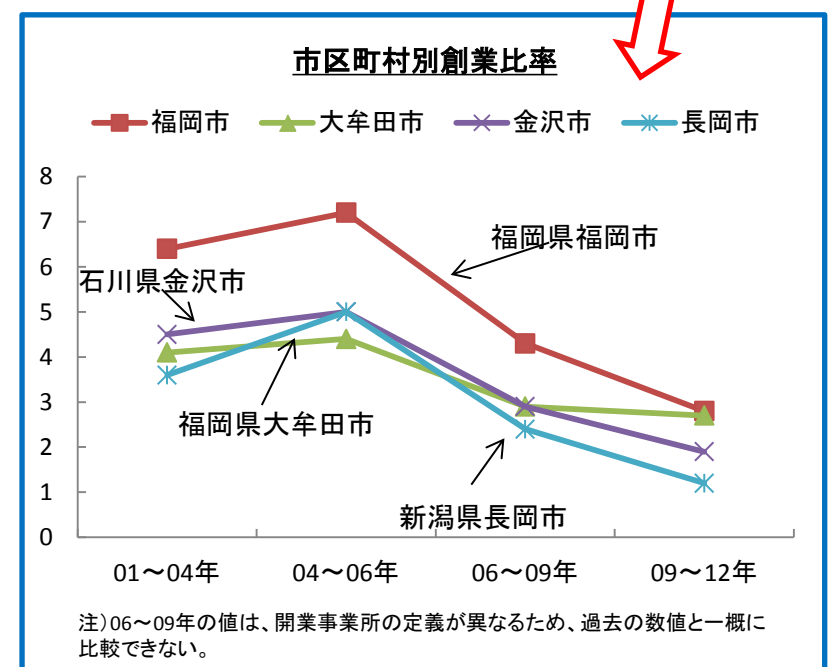
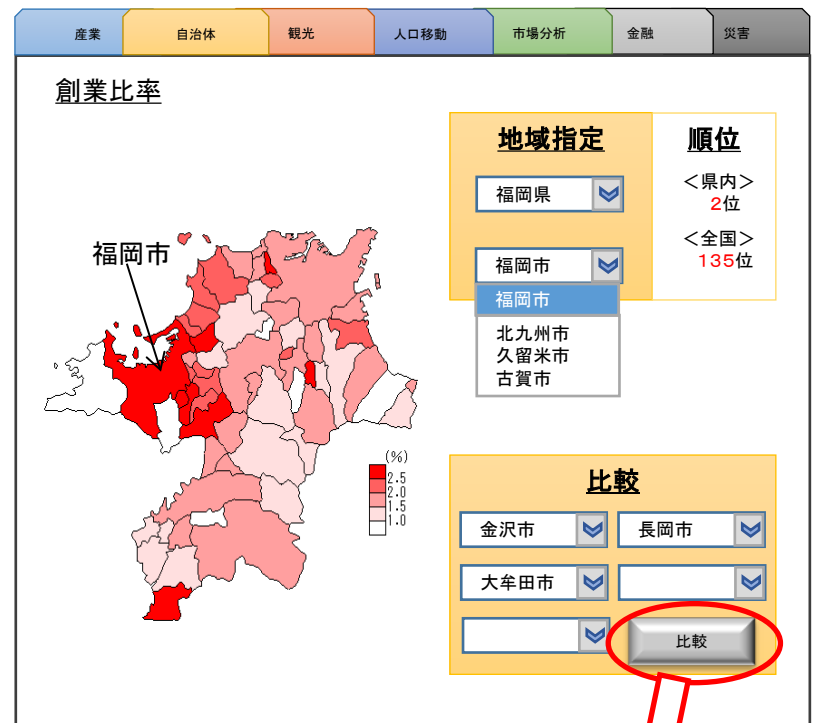


- 自分の都道府県・市町村からの人口流出の現状を、男女別・年齢層別に把握することができます。これにより、より現実的かつ効果的な「人口流出防止策」を検討することが可能となります。



自治体比較マップ

- 様々な指標に基づき、全国約1800ある自治体の中でのランキングを「見える化」します。これにより、自治体は、例えば、5年後の目標設定やPDCAが立てやすくなります。また、自分の自治体の強み・弱みもわかります。
- 例えば、起業・創業の活発度を示す「創業比率」において、自分の市町村は全国第何位なのかがわかります。また、全国上位ランキングの自治体がどのような「創業施策」を講じているかも、「施策マップ」で見ることができます。
- 他にも、黒字赤字企業比率、従業員数の増減率、経営者の平均年齢、有効求人倍率などのデータも、市町村間で比較できます。



今後の予定

【2015年】

- 1～2月： 地方自治体との実証事業(5地域)
- 2月末 : 本システムの開発終了
- 3 月 : 本部職員及びシティマネージャー研修
- 4月以降: 本システムの公開(自治体向け・一般国民向け)
: 地方自治体職員向け研修会(全国)